

## 申4号「営業統括センター体制見直しについて」に関する申し入れ 団体交渉①

1. 営業統括センターの体制見直しに至った根拠と、安全・サービスレベルの維持向上が図れる根拠を明らかにすること。

**回答** 当初を取り巻く環境の変化等を踏まえ、効率的な体制を構築していくため実施するものであり、引き続き安全の確保及びサービス品質の向上に努めていく。

【主な議論内容】★組合 ・会社  
(北上駅)

・列車扱いを行う本数としては変わらないが、新幹線の列車扱いの業務を他の担務に振り分けることで解消可能と判断した。

(新花巻駅)

・営業時間の短縮が可能になったことで営業担務の体制を縮小出来ると判断し、列車扱いを交代勤務にした。

・当務と列車扱いで複数人列車扱いを行える社員が泊まり勤務になることで今まで以上に安定輸送の確保に繋がる即自的な効果があると考えている。

★体制変更によって、安全の確保やサービス品質の向上に努める姿勢を低下させてはいけない。

★一般社員が管理者の業務を行う場合があるとは、具体的に何を行うのか。

・イメージとしては運輸区で行っているような主務の社員が当直業務を行う当務主務。現在は北上営業統括センター内で行っていないが、今後は主務の社員が当務業務を行う可能性はある。

**体制見直しによって安全・サービスレベルを低下させないことを確認!**

2. 新花巻駅において、作業ダイヤ設定上北上以南からの通勤が困難なことから、必要により前泊・後泊の配慮をすること。

**回答** 就業規則に則り取り扱うこととなる。

【主な議論内容】★組合 ・会社

・7：20出勤が必要な理由として、2名の列車扱い担当社員が新幹線のクロス対応を行う時間帯で改札を担当する社員が必要なことから始業時間を見直した。

・休養室に空きがあれば前泊希望者が使用しても良いが、前泊を想定した勤務作成は行わない。

★社員とのコミュニケーションを図る中で前泊の配慮をするべきだ。

**見直しの根拠と希望者に配慮することを確認!**

## 申4号「営業統括センターの体制見直し」に関する申し入れ 団体交渉②

3. 北上駅において、作業ダイヤ設定上盛岡以北からの通勤が困難なことから、前泊を前提とした作業ダイヤとしないこと。

回答 引き続き効率的で生産性の高い業務執行体制を構築していく考えである。

### 【主な議論内容】★組合 ・会社

・在来輸送の出勤時間を7時45分に変更したことで青森方面からの通勤者が間に合わないことは認識しているが、前泊を前提としない作業ダイヤを設定したことで効率性が失われるのは本末転倒。

★前泊が解消出来る作業ダイヤを支社に上申する場合の目安はあるのか。

・4月～5月の段階で上申して頂き、実施が可能であるか検討することになる。

4. 体制見直し実施以降も安全・サービスレベルが維持・向上し教育ができる体制を構築すること。また、安全・サービスレベルが維持・向上し教育が行える現在員数を確保すること。

回答 業務に必要な要員は確保していく考えである。

### 【主な確認事項】★組合 ・会社

★北上営統セは要員が足りていない。年休や仮年休が入りづらい、毎月の勤務指定段階で休日勤務が指定されることが常態化している。

・業務に必要な要員は確保している。休日勤務は前年比で言えば増加傾向にある。超過勤務は全体的に減少傾向にあり、勤務指定状況を把握しながら要員の配置を行っていく。

★体調不良で年休を申請した際、代替要員を手配できず担務に穴を空けて業務運営を行っている。風邪で声が出ない状態の社員が、年休を取れば担務に穴が空いてしまうという責任感から筆談で窓口業務を行った。

★体調不良を訴えた社員に対して管理者から、年休を付与したいが代替りの社員を手配出来ないから我慢してほしいと言われ、体調不良のまま窓口業務を行った。

・個別の事象までは把握していないが、業務が出来ない状態であれば年休や病欠を申請して頂きたい。

★休みたくても休めない、体調不良でも無理して働いている現実があることを受け止めるべきだ。社員から、体調不良の際は休みを申請しても良いかという質問が出る自体が異常であり問題である。

・職場の声を受け止める。実態を把握出来なかったことについても受け止め、コミュニケーションを図っていく。

★管理者と社員が対面でコミュニケーションを図ることが出来る環境を全ての職場で整えるべきだ。

・現場長が責任を持ってマネジメント出来るように指導、フォロー、サポートを行っていく。北上営統セの現実に対して、支社としての役割を果たしていく。

全4項目議論終了！ 安全・サービスレベルの向上実現のために検証運動を強化しよう！